

一人一人のもちあじを生かす人権教育ステップアップ研修講座

- 1 日時及び会場 平成28年8月17日(水) 13:00~16:00
- 2 参加者 幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教員《34名》
 (経験年数別内訳) 6年未満 20名
 6年以上11年未満 10名
 11年以上16年未満 1名
 16年以上21年未満 1名
 21年以上 1名
 不明 1名
- 3 テーマ 人権教育の理念に則った子どもの見方・集団づくり
- 4 日程 13:00~13:10 日程説明
 13:10~15:20 ワークショップ
 15:20~15:50 ふり返り(DVD視聴及び意見交換)
 15:50~16:00 まとめ(アンケート等の記入)
 16:00 閉会
- 5 内容(概要)

<ワークショップ>

○アイスブレイキング

グルーピング

○9つの点~子どもを見る眼~

無意識のうちに思い込んで判断していることや決めつけた見方をしていることはないかをふり返る。

○みんなの「安心ルール」をつくろう

- ① うなずこう
- ② 秘密は守ろう
- ③ パス、OK!

※「安心ルール」は自分の思いを安心して表現できる場(教室)をつくり、誰もが大切な存在であることを互いに確かめ合うためのルールであり、学級づくり、授業づくりの基本となるものであることを確かめ合う。

○もちあじはたからもの

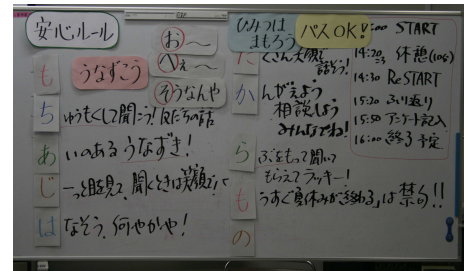
- ・「わたしのもちあじ」
- ・「アイデンティティとは？」

<確かな「集団づくり」に向けて>

資料「あの子」(「なかまとともに小学校1」)から、集団づくりを進めていく上で大切にしたい視点について考える。

<ふり返り(DVD視聴・意見交換)>

DVD視聴後、子どもの姿をどう捉え向き合っていくか、「子どもを見る眼」について意見交換する。



<参加者の声より>

- ・相手の「良いところ、悪いところ」でなく、「もちあじ」として見る視点は新鮮だと思った。子ども一人一人のことをそのように捉えていきたい。
- ・個人を大切にしながら、集団づくりにつなげていく手法を知ることができた。学級の様々な活動で、常に子どもたちが居心地のいい、安心できるクラスづくり、集団づくりに生かしていきたい。
- ・ワークショップを通して、自分自身の中にある「わく」「固定観念」を外して子どもと関わることの大切さを再認識した。「見えている部分」だけで判断せず、「見えていない部分」も探って子どものことを考えることを意識して取り組みたい。